

平成26年度第3回川崎区区民会議地域を育むまちづくり部会摘録

日時：平成26年9月4日（木）午後6時30分

場所：川崎区役所7階会議室

出席者（敬称略）

委員 9名

赤間靖夫、新井一成、岩瀬絹代、金岩勇夫、塚原晴美、寺尾宇一、戸村正房、  
埜瀬晴美、原田歩

欠席 深瀬欣之助

参与 0人

傍聴 0人

1 開会

事務局＜会議の成立、会議の公開、会議の事前公表、会議録の摘録公表、摘録の確認、写真撮影を説明。傍聴の有無の確認。配布資料の確認＞

2 部会長あいさつ

戸村部会長＜あいさつ＞

3 議題

(1) 第1回、第2回専門部会の審議内容をふまえた審議課題の選定について（資料1）

戸村部会長 議題1「第1回、第2回専門部会の審議内容をふまえた審議課題の選定について」事務局から説明をお願いします。

事務局＜資料1について説明＞

戸村部会長 では、前回の議論を踏まえながら本日は審議課題の方向性について決めていきたいと思っております。

まずは災害対策の方から進めていきたいと思っております。災害対策については大きく3つの方向性が議論されています。

1つ目は災害マップの作成についてです。川崎市には多くの種類のマップがあるが、情報が簡単明瞭にまとめられているマップがなく、少なくとも災害発生から1日過ぎせる情報を載せたマップが必要であるとのご意見が出ました。

2つ目は災害時の体制づくりについてです。まずは自助という話から、町会に加盟してもらうにはどうしたらよいかということについてご意見が出ています。

3つ目は避難体制の明確化についてです。避難所の管理体制や仮設住宅の建設についてご意見が出ています。

まず災害マップの作成について、どのようなマップがいいのか、また、携帯できる防災手帳などについて、ご意見をいただければと思います。

原田委員 前回もお話しましたが、平成8年に阪神・淡路大震災の教訓をふまえ、防災の動きが活発になり、東大島小学校を避難所とする3町内の合同で防災訓練を行いました。その中で防災マップを作成するワークショップを行いました。その経験から本部組織をしっかりと構築することとそれぞれの家族で事前に家族会議を開くなどして自助の準備をしていくことなどが重要だとわかりました。そのため、家族会議を開くきっかけとして携帯できる防災手帳の作成を提案したいと考えています。それが自助の第一歩になるし、何かあったときに役に立つものだと思います。

また、川崎区は地理的に平坦であるため、広島のようながけ崩れのようなことは幸いにも起きないため、避難所に行くにもあまり危険ではない状況です。危険なことといえば、電柱やブロック塀など建物や工作物の倒壊くらいだと思います。

戸村部会長 確かにがけ崩れなどの危険はありませんが、川崎に原発の実験所があることを最近知りました。東芝の施設のようなものであるが、そういうものがあると知ってしまうと少し心配です。改めて地域のことを調べてみる必要があるかもしれません。

また、もう1つ私が気になっているのは、避難した際の食料の備蓄についてです。食料の備蓄がどこにどれだけあるのか、そういったことがわかるマップがあってもいいかもしれません。

原田委員 小学校や役所の出張所の倉庫に入っていると思います。

赤間委員 もちろん近所に備蓄倉庫があればいいが、道路が寸断されてしまったら運び出せないと思います。

とむらぶかいちょう みやまえしょうがっこう ひなんぼしよ しょくりょう びちく ぜろ  
戸村部会長 宮前小学校も避難場所になっているが、食料の備蓄はゼロです。  
けつきよく しょくりょう しょうみきげん かんてん お  
結局、食料には賞味期限があり、その観点からあまり置くことはできない。

はらだいいん こうじょ たよ じじょ かにい さいていいいっしゅうかんぶん  
原田委員 やはり、公助に頼らず、自助としてそれぞれの家庭で最低一週間分く  
びちく たいせつ おも けいはつ じゅうぶん  
らいの備蓄をしておくことが大切だと思います。その啓発も十分にしてい  
ひつよう  
く必要があります。

また、現代ではインターネットが主流になり、ホームページには多くの  
げんだい いんたーねっと しゅりゅう ほーむぺーじ おお  
じょうほう  
情報があるが、いざというときにはインターネットに頼ることはできない。  
いんたーねっと たよ  
ねっと かんきょう すんだん でんち き つか  
ネット環境が寸断されたり、電池が切れたりしたら使えなくなるため、やは  
てちょう  
り手帳のようにしっかり紙で持つておくことが重要。

てらおいいん ほんじつ き き かんりたんとう かしやう いたう なに  
寺尾委員 本日はせっかく危機管理担当課長の伊藤さんがきているので、何か  
き  
聞きたいことがあれば聞いてみてはいかがでしょうか。

の せい いん おだ ぼうさいせんたー つか  
埜瀬委員 小田にある防災センターはどのように使われているのか。

じむきょく おだ ぼうさいせんたー かわさきし ひなんぼしよ してい  
事務局 小田にある防災センターは川崎市の避難場所として指定されており、  
しゅうへん おだ ちやうめ かがた ひなん ぼしよ じっさい もの  
周辺の小田5,6丁目の方々が避難する場所であるが、実際にいってみると物  
お ひなん じやうきやう かくがっこう  
がたくさん置いてあり、避難はできない状況となっています。各学校ですと  
ひなんじょ たいいくかん ぼうさいせんたー こんご かがた き き かんりしつ  
避難所は体育館であるが、防災センターの今後のあり方については危機管理室  
けんとう よてい いま そうこ じやうきやう  
で検討していく予定です。今は倉庫のような状況になっています。

また、備蓄倉庫については、備蓄計画というものがあり、それに基づき、各  
びちく そうこ びちく けいかく もと かく  
しょうがっこう びちく じやうきやう そうこ しょうがっこう こんご なにねんかん  
小学校に備蓄をしている状況です。倉庫がなかった小学校も、今後何年間  
そうこ せいび よてい びちく なかみ かわさきし ちいきぼうさい  
で倉庫を整備していく予定です。備蓄の中身については、川崎市の地域防災  
けいかく はあく びちく ぜんいん いたう  
計画で把握しています。また、備蓄については、やはり全員に行き渡るほどの  
びちく くみん みなさま じじょ かくかてい たいさく ねが  
備蓄は難しいので、区民の皆様には自助ということで、各家庭での対策をお願  
おも  
いしたいと思います。

とむらぶかいちょう ぼうさいまっぷ ぼうさいてちょう さいがい たいせい なに  
戸村部会長 防災マップや防災手帳、災害時の体制づくりについて、何かありま  
すか。

じむきょく てちょう じじょ かんてん よ してん おも かくかてい じぜん  
事務局 手帳などは、自助という観点から良い視点だと思います。各家庭で事前  
かぞく かいぎ ひら はな ばな じゅうよう  
の家族会議を開いてそれぞれが離れ離れにならないようにすることは重要で  
としよ ひとりぐ なに ぼうさいてちょう じゅうほう  
す。お年寄りの一人暮らしなどでは、何かあったときに防災手帳があれば情報

を伝えることができるし、地域で協力できると考えます。

さらに自主防災組織については、自分たちで地域を守ることが前提であり、ここは危険な区域であるなど地域の状況を把握しておくことが重要だと思います。

戸村部会長 川崎区内にはそういった危険区域はあるのか。

事務局 地域防災計画に定めているが、火災でいえば、小田地区は道路が狭く、建物が密集しており、延焼の可能性が高い地域となっています。

戸村部会長 化学薬品による二次災害やコンビナート災害については大丈夫なのでしょうか。

事務局 化学薬品を扱う臨海部の企業は、市の消防以上の装備を持った防災組織を作っており、安全対策に取り組んでいます。

また、コンビナート災害については、昨年の区民会議で行った出前講座で、臨港消防署の方々に協力してもらい、安全対策などについて講座を行いました。コンビナート関係の担当は神奈川県になります。

金岩委員 防災手帳を持つことは大切だと思うが、あまり細かいといざというときに全てを把握することはできないと思います。

戸村部会長 時間も迫ってきたので、防災についてまとめると、審議課題の方向性としては、防災マップの作成、家族防災会議を開いてマイ防災手帳の作成、町会単位で防災訓練を実施して町会を活性化、自主防災組織のあり方の検討ということで進めていきたいと思います。

次に、子どもの健全育成について議論をしていきたいと思います。子どもの健全育成については大きく2つの議論がありました。

1つ目は公園環境の整備ということで、公園の目的の再確認や、子どものための公園になっていないこと、公園の施設設備に偏りがあるなどのご意見が出されました。今回参考資料として「子どもの権利条例」を持ってきました。

2つ目は学校の教室の活用、世代間交流の促進については、前回議論に出ましたが、もう1つの部会と重複しているため、この部分は本部会では取り組

まなひほうこうでいきたいとかんがえています。

また、その他の議論として、向こう三軒両隣などの地域内交流や自転車マナーの問題、通学路のグリーンベルト塗装化などがありました。

まず、公園環境の整備について何か意見はありますか。

新井委員 子どもの権利条例について、全国でも川崎市にだけあると聞いています。中身に「子どもは、大人とともに社会を構成するパートナーである。子どもは、現在の社会の一員として、また、未来の社会の担い手として、社会のあり方や形成にかかわる固有の役割があるとともに、そこに参加する権利がある。」とあります。この部分をふまえて、私は川崎区の子ども会議の部員で、8月に行われたサマーキャンプに参加してきました。小学生が26名、中学生が14名で八ヶ岳に行き、子ども達は大自然とふれあいながら様々な経験をさせることができました。川崎区内にも子ども達が様々な経験ができるような自然とふれあえる場ができればいいと思います。

原田委員 それが市民健康(海風の森)の森だと思えます。もうすでにあります。

新井委員 前に私が富士見公園に夢パークをという話をしたときにも、それは終わっていることだとおっしゃいましたが、その理由を教えてくださいませんか。

原田委員 以前にも富士見公園を夢パークにしようという話があり、市民健康の森をつくる際にも候補地として上がった経緯があります。しかし、競輪場の問題などにより、市民健康の森は現在の場所につくられました。

金岩委員 おそらく都市公園法などでもできないように定められていたと思えます。

新井委員 そういったことはもっと早く知りたかったです。子ども達にできるかもしれないと話してしまいました。もう完全に富士見公園の計画は完成してしまっているのでしょうか。

北沢副区長 いえ、富士見公園の再整備の計画はまだ一部できあがっていない部分があり、その夢パークの話も所管課としても把握している状況です。さきほど話のあった八ヶ岳のような自然は難しいと思えます。

新井委員 八ヶ岳のような自然はもちろん望んでいないが、何かしらできあがる可能性はあるということですか。

北沢副区長 私の立場では断言できかねますが、担当しているのは建設緑生局で、富士見公園の一部分については、まだ絵が書ききれていない状況となっています。

寺尾委員 もし本当に実現させたいのであれば、しっかりした団体でしっかりしたプランをつくって、請願するなり、自分たちで管理までやるから任せてくれといったプランでないと実現しないと思います。つくっただけで終わってしまい管理が行き届いていない事例を知っていますが、そうならないようにしっかりと企画書をつくって請願していく必要があると思います。

原田委員 昔に富士見公園の管理整備ワークショップを行ったが、ほとんど誰も集まらなかった記憶があります。当時であればまだ可能性が高かったと思われるが、区民の関心は低かった。

戸村部会長 やはり子どもの権利から話を持っていかないといけないと思います。子どもが何を欲しいのか、子どもの意見を優先して公園を変えていくべきです。

北沢副区長 夢パークができるのかどうかということについては、先程寺尾委員がおっしゃったように、ただ検討していただくだけでは、なかなか進めることができないと思います。今、いろんなことが規制されている公園をもっと自由に使えるようにしていくためには、どのようにその公園を管理運営していくかという部分が非常に重要であり、その部分がないとなかなか難しいと感じます。

新井委員 おそらく請願は出ていると思います。そして、それが満場一致で採択されたという部分まではお聞きしました。果たしてその後はどうなったのでしょうか。

**補足**：川崎区地域教育会議より平成23年6月30日付けで出された「川崎区に冒険遊び場・子ども夢パークをつくること」に関する請願は、平成23年10月6日に本会議において趣旨採択された。

金岩委員 夢パークが欲しいということはわかります。しかし、場所は検討中と  
いうことで川崎区内のどこかになるかもしれないという話で、富士見公園に  
欲しいという希望はわかるが、様々な事情があり難しいかもしれませんとい  
うことだと思います。富士見公園の問題の第一は富士見中学校としての専用  
の校庭をしっかりと整備することだと考えます。

寺尾委員 審議課題の検討について、公園といっても川崎区内には大きい公園も  
小さい公園もあり、どこをターゲットにしていくかを考えていかないといけ  
ないと思います。大きい公園の管理運営を問題とするのか、各公園にある施設  
を充実させていくのかといったことがあります。

戸村部会長 どうまとめていくのか考えないといけません。公園の禁止事項も  
整理していく必要があると思います。

金岩委員 検討の可能性のある公園が各地にあると思います。富士見公園の競輪  
場の裏側の田んぼの再利用、大師公園の樹木が生い茂っているエリアの活用、  
桜川公園の活用などが考えられると思います。

原田委員 桜川公園はNPOが管理しています。現在は小田公園の整備を行っ  
ており、可能性としてNPOで管理することも考えられるが、NPOは大変だ  
と思います。その分自由度は高いです。

戸村部会長 公園でそれぞれ異なると思いますが、NPOの他には町会で管理  
しているような公園もあります。いずれにしても子どもの遊び場になるような  
整備が必要です。今後継続して検討していきたいと考えられています。  
また、その他の審議課題について、通学路のグリーンベルト塗装化について  
はどうでしょうか。

北沢副区長 これについては道路公園センターの方で行っており、塗装が剥げ

てきた部分の更新については毎年予算要求を行い、毎年予算の範囲内で整備  
をしています。新たにつくるところがあるかどうか、検討しているのかは話を  
聞いてみないとわかりません。

戸村部会長 通学路に防犯カメラはあるのでしょうか。

北沢副区長 道路上には無いと思います。

原田委員 富士見中学校にはあります。国の施策で50箇所整備したと聞きました。  
た。

戸村部会長 子ども向けの防犯も検討していかなければいけない課題であるし、  
グリーンベルトは塗装の他に植栽帯などもいいと思います。ガードレールな  
どはどのようになっているのですか。

北沢副区長 道路の幅とかにもよるので、一概には言えません。

岩瀬委員 幅員の広い道路であれば、ガードレールが両側にあって、さらに  
グリーンベルトがあったりします。また、道路公園センターに修復箇所のあ  
る横断歩道を3月にお願したところ、最近ようやくできあがり、スピードが  
遅いと思うので、危険な箇所の場合は早めの対応をお願いしたいです。

戸村部会長 地域の交通安全についてはどのような取組を行っているの  
でしょうか。

北沢副区長 地域の検討会などがあるので、検討する母体はあります。

事務局 川崎市の通学路の安全対策会議という組織があり、区役所の学校担当が  
PTA から年に一回要望をいただいでいて、通学路に指定されている道路に  
ガードレールができないとかグリーンベルトが剥げてきているなどの要望  
が出されます。それに加えて、こども支援室と警察と道路公園センターで現地  
を調査し、対応をしています。現在、要望があるが対応ができておらず、持ち  
越しているものが95件ほどあり、大師地区や田島地区が多くなっています。

とむらぶかいちょう ぼうはんかめら ようぼう  
戸村部会長 防犯カメラの要望はないのでしょうか。

じむきょく ぼうはんかめら せっち ようぼう つうがくるじたい ひとどお すく  
事務局 防犯カメラの設置の要望はありません。通学路自体が人通りの少ない  
道路は避けているようなので、あまり危険な道路は無いと思われま

とむらぶかいちょう じてんしゃ まな一 なに  
戸村部会長 自転車のマナーについては何かありますか。

きたざわふくくちょう ききかんりたんとく たんとく ちいき なか けんとう そしき  
北沢副区長 これも危機管理担当が担当で、地域の中にも検討する組織があり、  
かわさきく じてんしゃ じこ おお ちから はい とく  
川崎区は自転車の事故が多いということもあり、かなり力を入れて取り組ん  
でいる分野でもあります。学校の下校時間に地域の方にも見守りしていただいた  
り、自転車マナーについても啓発キャンペーンなどを行ったりしています。

てらおいいん ちゅうこうせい ふたりの じょうきょう おも  
寺尾委員 中高生はみんな二人乗りしていて、状況はひどいと思います。

はらだいいん かわさき こうつう じこ はんぶんていど じてんしゃ から き  
原田委員 川崎の交通事故の半分程度は自転車が絡んでいると聞いたことがあ  
ります。

とむらぶかいちょう がっこう じてんしゃつうがく みと  
戸村部会長 学校は自転車通学を認めているのでしょうか。

きたざわふくくちょう こうこう みと おも  
北沢副区長 高校などは認めていると思います。

とむらぶかいちょう じてんしゃ まな一 こんごぎろん すす ひつよう おも  
戸村部会長 自転車マナーについても今後議論を進めていく必要があると思  
います。

また、部会の活動としてどこか視察に行く予定ですが、どこか候補地として  
視察したい場所などはありますか。

ぼうさいかんけい くに せんたー こ かんけい だいひょうてき こうえん かんが  
防災関係では国のセンター、子ども関係では代表的な公園などが考えられ  
ると思います。

かないわいいん なんぶ ぼうさい せんたー おも  
金岩委員 南部防災センターなどはいいと思います。

いわせいいん こうえん しながわちゅうおうこうえん み い おも きれい  
岩瀬委員 公園でいえば、品川中央公園を見に行きたいと思

でベンチも適度にあり、とてもいい公園の事例です。

てらおいいん じれい こうえん わる こうえん りょうほうしきつ ひかく おも  
寺尾委員 いい事例の公園と悪い公園を両方視察して比較することもいいと思

います。

<sup>とむらぶかいちょう</sup> 戸村部会長 <sup>しきつばしよ</sup> 視察場所については、<sup>こんご</sup> 今後また<sup>けんとう</sup> 検討していきたいと思<sup>おも</sup>います。

(2) <sup>しんぎすけじゅーる</sup> 審議スケジュールについて

<sup>とむらぶかいちょう</sup> 戸村部会長 <sup>しんぎすけじゅーる</sup> 審議スケジュールについて<sup>じむきょく</sup> 事務局から<sup>せつめい</sup> 説明<sup>ねが</sup>をお願いします。

<sup>じむきょく</sup> 事務局 <<sup>しりょう</sup> 資料2 <sup>せつめい</sup> について説明>

4 <sup>た</sup> その他  
<sup>とく</sup> 特になし

<sup>ごご</sup> 午後8時<sup>じ</sup> 30分<sup>ふんへいかい</sup> 閉会

<sup>いじょう</sup>  
(以上)

だい き かわさきくくみんかいぎ しんぎかだい  
第5期川崎区区民会議の審議課題について

ちいき はぐく ぶかい  
＜地域を育むまちづくり部会＞

しんぎかだい ぶんや 審議課題の分野	しんぎかだい ぐたいてき ないよう ほうこうせい 審議課題の具体的な内容・方向性
ぼうさいたいさく 防災対策	さいがいはっせいしよき ひつよう じょうほう の ぼうさいま っ ぶ さくせい ◎災害発生初期に必要な情報のみを載せた防災マップの作成 ま い ぼうさいてちょう さくせい つう かぞくぼうさいかいぎ すいしん ◎マイ防災手帳の作成を通じた家族防災会議の推進 じしゅぼうさいそしき かた けんとう ◎自主防災組織のあり方の検討
こ ども の あそ び ば 子どもの遊び場づくり	こ じゆう しぜん ば かくほ そうしゅつ ◎子どもが自由に自然にふれあえる場の確保・創出 こうえん かんりうんえい かた けんとう きんしじこう せいり ◎公園の管理運営のあり方の検討（禁止事項の整理など）
こうつうあんぜん 交通安全	じてんしゃま な ー こうじょう けんとう ◎自転車マナー向上の検討

く だれも が いきいき 暮らし ぶかい  
＜だれもがいきいき暮らす部会＞

しんぎかだい ぶんや 審議課題の分野	しんぎかだい ぐたいてき ないよう ほうこうせい 審議課題の具体的な内容・方向性
ちいきかつどう じゅうじつ 地域活動の充実	かくだんたい じっし こうれいしゃ こ みまも かつどう じったい ◎各団体で実施している高齢者・子どもを見守る活動などの実態 ちょうさ かくだんたい れんけい けんとう 調査と各団体の連携の検討
せだいかんこうりゅう そくしん 世代間交流の促進	こ いくせいし えんだんたいどうし じょうほうこうかんかい かいさい てんかい ◎子ども育成支援団体同士の情報交換会の開催・展開 えほん よ き せだいかんこうりゅう ちょうないかい も での じっし ◎絵本の読み聞かせによる世代間交流、町内会でのモデル実施
がいこくじんしみん く 外国人市民が暮らしや すいまちづくり	がいこくじんし えんだんたい れんけい ぼうさいでまえ こうざ かいさい ◎外国人支援団体と連携した防災出前講座の開催 がいこくじんしみん いしき じったいちょうさ かわさきく とくせい はあく (外国人市民意識実態調査による川崎区の特性の把握)